

2023年度 新潟産業大学 春学期「聴講講座」のご案内

新潟産業大学の「聴講講座」は、一般の方々が年齢や学歴等に関係なく、学生たちと一緒に大学の授業を受けることができる制度です。

試験や成績評価はありません。気楽に楽しく受講してください。
(単位修得ご希望の方は「科目等履修生」制度をご利用下さい。)



申込み期間 4月12日(水)～4月18日(火)

ただし【語学系講座(講座名の先頭に★がある講座)】は、4月5日(水)～4月11日(火)に事前にお申込みください。

申込み窓口 新潟産業大学教務課/地域連携センター ※各日 9:00～17:30

* 申込書に所定項目のご記入をお願いします。

* 個人情報、受講者管理および講座資料送付以外の目的には利用しません。

受講料 1科目(全14～15回予定):10,000円(消費税込み)

* 本学で証紙を購入して申込書に添付してください。

* 手続き完了後、「受講証」をお渡しします。

* 正規学生の履修登録者が3名未満の講座は不開講となります。

※新型コロナウイルス感染の状況によっては、**オンライン授業に切り替わる場合があります。**
その場合は、聴講講座についても、オンラインで聴講していただきます。
(お手持ちのパソコンやスマートフォンをご利用いただき、原則ご自宅での受講となります。)
なお、オンライン授業での聴講を希望されない場合でも、受講料の返金は出来ませんので、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

授業開始日 4月5日(水)原則週1回

* 授業開始第2週目まで「受講証」なし(無料)で聴講できます。

教室等の情報は教務課窓口でお聞きます。

* 本冊子最終ページ「授業日カレンダー」も参照ください。

休講日	*5月3日(水)、5月4日(木)、5月5日(金)、7月17日(月)
祝日授業日	*なし
補講日	*7月25日(火)、7月26日(水)

その他

・テキストは各自ご用意下さい。本学売店で購入(火～金 10:30～13:30)できます。

・休講や教室変更等のご連絡は学内の掲示板で行いますので、来校時に必ず確認してください。

(個別連絡もいたします。)

・講座ごとに4分の3以上出席された方には「修了証」を発行します。

・本学「聴講講座」は新潟県教育委員会が主催する「いきいき県民カレッジ」の講座として参加しています。

・新型コロナウイルス感染防止の観点から図書館利用は聴講生のみとなります。聴講生以外の一般の方はご利用いただけません。ご理解とご協力をお願いいたします。

【コロナウイルス感染の予防対策について】

- ・各教室に消毒液を設置
- ・座席は1席空けで着席
- ・不要な会話は厳禁
- ・その他、学内施設使用にかかる感染対策を徹底 等

お問い合わせ先:新潟産業大学教務課/地域連携センター
Tel:0257-24-8436 e-mail:kyoumu@ada.nsu.ac.jp

聴講講座一覧

教養 語学系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
1	★基礎韓国語 A (火2) 金 光林	15	韓国語の文字と発音を習得し、簡単な会話ができ、比較的に簡単な文章が読めるし、書けるようになることを目指します。適宜、韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定です。	【テキスト】：金 恩模等著『かんたん！韓国語』（朝日出版社2013年）2,300円＋税
2	★英語表現 A (a) (火2) 沼岡 努	15	英語の基礎文法を復習・確認しながら、やさしい会話表現を発話・暗唱したり、覚えた会話文を書けるよう講義します。	Diane Nagatomo and Fumiko Murase, Simply Traveling (金星堂) ¥1,800 (税別)
3	★基礎中国語 A (火2) 詹 秀娟	15	初心者を対象に中国語の基礎能力を養成する授業です。声調からスタートして中国語の発音、語彙、文法、会話などの基礎を身につけることに重点を置きます。同じ漢字でも中国語と日本語は意味が全く違うのも沢山あります。例えば「大家」は中国語では「みんな」を意味し、「看病」は「診察を受ける」になります。中国語は決して難しくなく中国語の面白さを勉強しましょう。	『しゃべっていいとも中国語』陳淑梅・劉光赤著 朝日出版社 本体2,300円＋税 CD付
4	★英語表現 A (b) (火2) 黒川 敬三	15	基本的な文法事項を確認しながら、よく使われる会話表現を学んでいきます。	水島孝司、ロジャー・パティモア『大学生のためのコミュニケーション英文法』南雲堂¥2,000円
5	★英会話 A (火2) モルト ジェリーアレン	15	いろいろな仕事で基本となる英語の構成をマスターします。自分自身について質問したり答えたり、指示を出したり指示したり、過去の出来事について話したり、将来の夢や計画について話したり、よくある言語の間違いを認識して修正したりするなどの基本的なスキルを習得を目指します。	An A to Z of Common English Errors for Japanese Learners (Japanese Edition) BTB Press David Barker ISBN 978-4-9904151-5-0
6	★中国語会話 A (火3) 詹 秀娟	15	中国語の日常会話を中心に「聴く」、「話す」に重点を置きながら初級から中級へのレベルアップにつながる会話表現能力の習得を中心にして進めます。	『話そう！実践中国語』宮本大輔・温琳 朝日出版社 2,200円＋税 CD付
7	★中国語演習 A (火4) 詹 秀娟	15	中国語の基礎と文法を習得し、多様な文体に対応するため、文章の読み方、長文の読解力と文脈の全体像把握に習熟することを目的とする授業です。この授業を通して最新中国事情をより深く理解することができます。	『時事中国語の教科書 2023年度版』新征程三猪正道ほか 朝日出版社¥2,090円 (本体1900円＋税) CD付
8	★韓国語会話 A (水1) 金 光林	15	韓国語の基礎を復習・応用しながら、中級程度の韓国語を学び、バラエティーのある練習を通して、話す・聞く・読む・書く能力がバランスよく上達できるように授業を展開します。	【テキスト】：韓国語教育開発研究院著『美しい韓国語』1ー1 (美しい韓国語学校2010年)
9	★韓国語演習 A (水3) 蓮池 薫	15	初級程度の韓国語を習得した方を対象に、初級の最終段階から中級の初めの段階に至る韓国語をしっかり身につける学習をします。	木内明『基礎から学ぶ韓国語 中級』改訂版 国書刊行会¥2,100 その他プリント
10	★英語講読 A (a) (木1) 黒川 敬三	15	基本的な文法事項の確認と語彙の増強を図りつつ、英語を読む力の向上を目標とします。	石谷由美子『構造で読む英文エッセイ〈上級編〉』南雲堂¥2,200円
11	★英語講読 A (b) (木4) 沼岡 努	15	基礎的な文法事項を確認しながら比較的平易な英文を読んでいます。英文を正確に読解できる力を身につけます。	Robert Juppe and Yukio Umaba, Premium Reader (金星堂) ¥1,700 (税別)

<1限 9:15～10:45、2限 10:55～12:25、3限 13:15～14:45、4限 14:55～16:25、5限 16:30～18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
12	★基礎中国語会話A (木4) 詹 秀娟	15	初心者を対象に基礎中国語の会話能力を養成する授業です。基礎中国語Aに加えて、さらに中国語の力をつけるための授業です。基礎中国語Aとも併用履修しながら、応用編として「聴く」、「話す」に重点を置き、レベルアップにつながる中国語の表現能力の習得を中心にして進めます。言葉を学ぶのと同時に、各課のコラムが中国文化を理解することもできます。中国語は決して難しくなく、中国語の面白さを勉強します。	改訂版『話してみよう！中国語』宮本大輔・温琳駿河台出版社¥2,200 CD付
13	★基礎韓国語会話A (金1) 蓮池 薫	15	韓国語の正しい発音と読み方、書き方を学びます。韓国語は日本語と文法がとても似ている反面、微妙な違いがあります。その点を踏まえて、基礎をしっかり築くことを目標とします。そのために教材にそって文字と発音をじっくり習得したうえで、あいさつや簡単な文型を身につけていきます。	木内明『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』改訂版国書刊行会¥2,100

教養 自然科学・体育系

<1限 9:15～10:45、2限 10:55～12:25、3限 13:15～14:45、4限 14:55～16:25、5限 16:30～18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
14	ヘルスサイエンス (日) (木4) 佐々木 洋輔	15	講義前半は、「ヘルス／健康」について説明し、健康維持のための基礎知識や、身体の構造と機能を学びます。講義後半は、ストレスや生活習慣、性や加齢、運動といった要素が健康に及ぼす影響について学びます。個人が生涯にわたって健康に生きることや、そのような人が増える社会づくりをテーマとし、講義を展開します。	なし
15	環境科学 (金3) 絹川 ゲニイ	15	私たちを取り巻く環境の中で、現在深刻化している種々の環境問題（地球温暖化、大気汚染、水質汚染、分解されにくい物質による汚染など）、エネルギー問題の概要と対策などを自然科学の立場からできる限り平易に解説します。	鈴木孝弘 新版 新しい環境科学（環境問題の基礎知識をマスターする）駿河台出版社2021年

教養 社会科学系

<1限 9:15～10:45、2限 10:55～12:25、3限 13:15～14:45、4限 14:55～16:25、5限 16:30～18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
16	社会学 (金1) 梅澤 精	15	私たちは家族に生まれ育てられ、家族が住んでいる地域社会で暮らし、そこから学校に通い、職場で仕事をし、年老いてまた家族や地域社会に戻ってきます。そしてこれら家族・地域社会・学校・職場は大きな「社会」（日本社会やグローバル社会）の中にあって、その影響を受けています。この講義では、社会学の基礎である「社会的行為」や「社会関係」、「集団」などの社会学の基礎概念を学んだ後、「家族」と「組織体」（学校や職場の集団）に焦点を定め、今日の日本における私たちの「生活」を明らかにしていきます。	テキスト：なし 参考文献：講義において適宜指示

教養 人文学系

<1限 9:15～10:45、2限 10:55～12:25、3限 13:15～14:45、4限 14:55～16:25、5限 16:30～18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
17	人文地理学Ⅰ (月3) 沼岡 努	15	人文地理学は人々が生活している地球上の空間を対象にしています。その目的は、様々な人々がそれぞれの風土に適応して作り出した生活の様式・環境や人文生態系がどのようになっているか、また生活空間をどのように互いに棲み分けているか、等を理解すること、さらにその形成要因を究明することにあります。	プリント資料。授業の進め方に関しては初回授業に詳しく説明します。
18	哲学 (月3) 渡辺 信也	15	「心の哲学」…本学の教育理念「主体的自我の確立」に鑑み、「自我・自己・心とは何か」という哲学の根本問題を主題的に論究します。狭義の「哲学」に限らず、自我・自己・心を巡る古今東西の科学・宗教思想等にも幅広く言及し、これらを比較検討することを通して、聴講者自身の哲学的思索を促し、その主体的自我の確立を目指します。	講義中に配付するプリントで代用する。参考書は講義中に紹介する。
19	東洋史 (月4) 金 光林	15	「東アジアの歴史・文明・自然・環境」をテーマに講義を行うことによって、東アジア地域に対する理解を深め、相互理解と交流に基づくアジア共同体及びユーラシア共同体の実現に向けた環境作りを目指します。この「東洋史」の授業は今年度にユーラシア財団from Asiaの助成事業として開講されるので、日本の国内外から多彩な講師を迎えて、統合的な地域として東アジアの歴史・文明・自然・環境について幅広く学べるよう授業展開します。	【テキスト】：プリント資料使用。【参考図書】：(1) ラインハルト・ツェルナー著、植原 久美子訳『東アジアの歴史その構築』（明石書店2009年）2,800円 (2) 田中俊明著監修『日本・中国・朝鮮東アジア三国史』（日本実業出版社2010年）1,800円
20	日本文化論 (火4) 小林 健彦	15	日記・古記録史料を使って、日本の古代より中世にかけてのさまざまな文化的な社会事象を読み取り、理解し学習を行ないます。	テキスト：小林健彦著『日本語と日本文化基層論～人名、人格化、そして、うわさの文化～』（電子書籍製本版、データ版）を使用する（購入方法は授業中に指示する） 参考書：斎木一馬編著『古記録学概論』吉川弘文館刊2,200円（税別）
21	地誌 (火4) 沼岡 努	15	地球の表面は実に多様で、気候、地形、植生などの自然環境と人々の生活、文化、社会、経済を形成する人間活動が複雑に作用し合っています。身近な地域から地球全体にいたるまで、この多様で複雑な現実を「総合的に」理解することの意義は大きく、地誌学は小規模地域から地球全体まで様々なスケールで特定地域の姿をあらゆる角度から「総合的に」探究する学問分野です。世界に目を向け、いくつかの地域の姿を多面的に描き出していく予定です。	使用しない。講義用ノートを用意してください。
22	西洋の芸術 (木1) 梅比良 眞史	15	文化史のなかでも美術史は最重要なものの一つです。西洋美術史の主流をなす絵画を中心に、各時代の主要作品を取りあげます。授業毎にそのトピックについての短文を提出してもらいます。	【テキスト】高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社 1,900+税
23	比較文化論 (木1) 蒼原 烏瑠吉	15	自国文化の思い込みから離れ、他国文化を理解し、興味を引き出します。グローバル化の中で共生共存していくことを学びます。映像資料や体験ゲーム等を通して異文化理解、異文化との交流を中心に考察します。	参考書：重久剛『比較文化論-異文化間コミュニケーションへの糸口-』

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
24	世界史概論（代：沼岡）/蒼原 （木2）沼岡 努	15	世界史を多角的にみることによって広範な知識を習得することを目的としています。ヨーロッパ世界では中世封建社会から近代国家の成立と発展に焦点を当てます。また、近現代史では、帝国主義から世界大戦前後の時代までを取り上げます。アジア世界では、モンゴル学を中心に講義します。モンゴル帝国はアジア地域だけではなく、ヨーロッパ諸国に対しても深い影響を与え、東西の文化交流に重要な役割を果たしました。この講義では、日本、モンゴル、中国で保存されている貴重な映像資料を見ながら進めます。	授業中に適宜指示します。
25	中国文化事情 （木3）詹 秀娟	15	日本と中国は、地理的には「一衣帯水」と言われるように海一つ隔てて向かい合う隣国です。その一方で「近くて遠い国」と思われます。この「似て非なる国」と言われる中国、この授業を通じて、中国・台湾の歴史、文化、社会全般にも理解を深めます。講義では、中国・台湾に関する歴史・文化・社会・風俗・習慣・現代事情等を幅広く題材に取り上げます。	テキストは特に指定しません。プリントを配付します。参考文献：『最新中国がわかる本』『台湾を知るための60章』
26	文学 （木4）梅比良 眞史	15	この授業では近代文学の読み方をその観点から学びます。現代社会の理解に役立つ科目です。	【テキスト】大塚 英志『文学国語入門』、星海社新書、1,050円（本体）
27	日本史Ⅰ （金1）小林 健彦	15	対外交渉史の学習を行ないます。現在の北陸、新潟地方を窓口とした韓半島・朝鮮半島、中国大陸との政治、文化的な交流の様相を解明していきます。	小林健彦著『韓半島と越国～なぜ渡来人は命がけで日本へやって来たのか～』（電子書籍製本版、データ版）を使用する。インターネットを通じて購入する。購入方法の詳細は初回授業時に説明する。
28	教養演習A （金2）蒼原 烏瑠吉	15	前半はモンゴル語の母音、子音を中心に、後半は文学作品（主に民話）を取り上げて解説、そしてその作品が書かれた歴史背景、生活習慣、日本文化の相違を比較しながら進めていくことを目的とします。	参考書：南雲智編訳『内モンゴル民話集』論創社 2,100
29	日本の芸術 （金2）片岡 直樹	15	奈良～江戸時代の日本美術を概観します。平安貴族の生活を色鮮やかに描き出した「源氏物語絵巻」、庶民が生んだ庶民のための「浮世絵」など、日本美術の美しさ、おもしろさを皆さんに伝えたいと思っています。	テキストは用いず、毎回プリントを配付します。参考文献は青柳正規ほか『日本美術史』（美術出版社、1991年）のほか多くある。その他の参考文献は第1回の授業で紹介しします。

専門 経済系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
30	統計学Ⅱ （月1）橋本 次郎	15	推測統計学の基本を学びます。前半は確率分布の基礎を学び、その上で標本平均の分布を学習します。後半は母集団の平均の推定と検定を中心に、統計的分析結果の見方・考え方の基本を学びます。	【テキスト】鳥居泰彦 著『はじめての統計学』日本経済新聞社¥2,233円＋税
31	簿記Ⅰ （月2）土田 茂博	15	小さな会社の経理実務に役立つ簿記知識を養います。日本商工会議所簿記検定3級の範囲で勉強する。	『サクッとわかる 日商3級テキスト』ネットスクール株式会社 出版 『サクッとわかる 日商3級トレーニング』ネットスクール株式会社 出版

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
32	原価計算論Ⅰ (月2) 山崎 一輝	15	コストを抑えることは企業にとって収益性や生産性という点で重要であるが、品質や在庫や納期などとトレードオフの関係でとらえる必要があります。原価計算の基本をマスターしながら、原価概念の多様性や製造間接費の配賦の考え方を学びます。	【テキスト】滝澤 ななみ『スッキリわかる 日商簿記2級 工業簿記第11版』TAC出版 1,650
33	地域経済学 (月3) 澁谷 朋樹	15	地域経済、地域経済を分析するための手法や地方自治体の政策事例を紹介します。	【テキスト】なし【参考文献】1.山田浩之・徳岡一幸編(2018)『地域経済学入門〔第3版〕』有斐閣。2.岡田知弘・川瀬光義・鈴木誠・富樫幸一(2016)『国際化時代の地域経済学〔第4版〕』有斐閣。3.その他の文献に関しては、授業内で適宜紹介する。
34	経営品質 (月3) 五味 由紀子	15	顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織の考え方を学ぶとともに、自分も成長し続けるための考え方を学び・気づき・実践できるよう、体験・体感する内容を主としています。前半は、理想的な姿を実現するために取り組んでいる組織について学習します。後半は、社会や組織から求められる“人間力”や“論理的な考え方・話し方”を楽しく磨きます。	随時、資料を配付
35	ミクロ経済学Ⅰ (火1) 阿部 雅明	15	基礎ミクロ経済学で学んだ内容をより深く、広く講義します。具体的には、消費者の効用最大化行動や企業の利潤最大化行動を簡単な微分を使用し分析する方法を学んでもらいます。以上を通じて、需要曲線と供給曲線の成り立ちを詳しく解説します。	『政治経済学』石橋一雄 他 成文堂 3000円＋税
36	財務諸表論 (火1) 陳 釗	15	企業の経営環境の変化に相応して、企業経営の複雑化、競争の激化、専門化、多様化、国際化は避けて通れない事実です。こういった環境下において「会計」は極めて重要な経営ツールとなっています。企業を取り巻く各種の利害関係者は、その意思決定指針として企業が発信する会計情報に注目し、自らの意思決定に役立てています。特にここ数年来の新しい会計制度改革は経営判断にドラスティックに影響し、国際会計基準などの動向はさらに複雑かつタイムリーな意思決定を求めています。「財務諸表論」においては、これらの変化に対応できるよう会計がどのような仕組みと思考で構成されているかを学びます。	テキスト 初回授業時に説明します
37	環境経済学 (火3) 阿部 雅明	15	経済学の基本的な考え方を使って、地球環境問題が引き起こされる原因や、今後必要とされる解決策などについて学んでもらいます。そのために、学期初めの数回の授業では、経済学の基本中の基本とされる「需要・供給の法則」についてや、経済学の簡単な歴史について説明します。そして、経済学の基礎理論を理解した上で、経済学の基本的なツールを使いながら、環境問題についての議論を紹介していきます。	『環境経済学入門』R.K.ターナー/D.ピアス/I.ペイトマン、東洋経済新報社 2900円＋税
38	基礎ミクロ経済学 (火3) 江口 潜	15	ミクロ経済学とはどのような内容なのかなど、初めて「ミクロ経済学」なるものに接する方を対象に、平易にミクロ経済学について解説を行います。	現在検討中(決定後学内に掲示)。なお必要な授業資料は産大ホームページ内の http://www.nsu.ac.jp/official/fa/eguchi/index.html というページで閲覧およびダウンロード可能(なので指示に応じて各自ダウンロードすること)

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
39	経済成長論 (水1) 青木 隆明	15	マクロ経済学の中で発展してきた代表的な経済成長理論モデル、例えばハロッド・ドーマー・モデル、ソロー・スワン・モデルなど、その代表的なモデルの動学メカニズムと含意について説明します。また、研究・技術開発、知識・技能や教育、出生数などの変数を内生化した内生的成長モデルについて考えます。さらに経済成長のメカニズムの中で、いわゆる貧困の罠や国際金融危機などの経済現象や国際経済の下での経済成長を考えるとともに、今後の日本そして世界のあり方や、国の豊かさ生活の豊かさとは何かを考えていくきっかけとします。	特にテキスト（教科書）は指定しない。講義用レジュメおよび補足資料を適宜配布する。参考書については授業時に適宜紹介する。
40	管理会計論 (水2) 陳 釗	15	管理会計とは、広範な会計領域の中で、とくに経営管理者の立場から、意思決定や業績評価に重点を置く会計をいいます。経営管理に有用であることが何よりも求められています。利益や資金が高水準であれば、会社は発展し、悪化すれば倒産リスクが高まります。簡単そうに見えるが、利益が高水準であれば資金状況がよくなるということでもないという一面もあります。切実な問題なのに結構難しいしおもしろい面があるということから学習を進めていきます。	テキスト 初回授業時に説明します プリント配付予定
41	開発経済学 (水3) 内橋 賢悟	15	開発経済学という、一般的には発展途上国の開発問題等を取り上げるが、本講義では、発展途上国のみならず先進工業国を含めた国々においての、地球環境問題に配慮した今後の経済開発のあり方について講義します。その中で、従来型の経済開発の限界を概観し、その後、長期的に持続可能な経済システムについて説明します。	初回授業で指示します。
42	人的資源管理論 (水3) 大石 友子	15	行動科学や人的資本論の影響のもとに発展した人間を経営の重要な資源と捉える人事労務管理の考え方や社会や企業の変化に伴う新しいアプローチについて学習します。	毎回レジュメを配布する。必要に応じて資料プリントを配付する。
43	基礎会計学 (水3) 山崎 一輝	15	会計情報の活用・しくみ・制度について学ぶ。基本的なテーマは、会計情報を読みとり、活用できるようにすることです。基礎的総合的視点を重視して、講義を行います。現代の企業活動と会計とのかかわり、会計理論や会計制度の社会における役割や問題点、会計情報の具体的な利用、会計制度のあり方など多様な視点から、会計について論じます。	【テキスト】松浦 剛志 他『一問一答で学ぶ 会計の基礎』ファーストプレス¥1,650
44	経済分析のための数学 (木1) 青木 隆明	15	経済学の理解に必要な数学の基礎知識をしっかりと身に着けます。具体的には、数・式の計算、関数、微分、指数・対数、確率・統計の各分野の基礎知識を習得するとともに、特に経済学への応用例として、需要と供給、企業の生産行動、投資・債券の利回り・価格付け、回帰分析（特に最小二乗法）などを紹介します。	テキスト：「経済学のための数学の基礎15講義」（ライブラリ経済学15講義BASIC編 別巻1）小林幹著 新世社 その他、講義用レジュメおよび問題プリントを適宜配布します。
45	経営組織論 (木1) 高橋 成夫	15	企業の実体としての組織形態の発展を踏まえ、今日的な問題を取り上げて、今後の組織のあり方を検討していきます。	佐久間信夫・坪井順一編『現代経営組織論の基礎』学文社 2,600+税

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
46	マクロ経済学Ⅰ (木1) 黒岩 直	15	マクロ経済学を体系的に学んでいきます。マクロ経済学は、経済を大きくとらえ、全体的な経済の動きやつながりを読み解いていく学問です。まず、基本的なGDPなどの概念の理解から始め、三面等価の法則や、生産・所得の決定などを学んでいきます。また現在の日本でもよく話題になるインフレ・デフレなどの問題や、失業問題などのトピック、さらには金融と世界経済など、現実の経済からも題材を募りながら、講義を行う予定です。	配布するプリント・レジュメ類を中心に授業を行う。【参考文献】伊藤元重『マクロ経済学』第2版日本評論社¥3,080
47	労働経済学 (木2) 江口 潜	15	労働経済学全般について講義します。内容はミクロ経済学における労働、および労働需要、労働供給、労働とモラルハザードあるいは逆選抜、長期雇用と年功賃金の理由、などの内容で、それらを教科書に基づきながら説明していきます。	【テキスト】川口大司著『労働経済学 理論と実証をつなぐ』有斐閣2017年2,800円＋税
48	商品開発論 (木2) 大石 友子	15	商品開発は経済社会の変化とともに企業が変化する大きな要素となり、競争力と成長力に繋がります。グローバル化、情報化が進む社会で消費者のニーズの変化も速くなっており、いかにシーズを生かした開発をしていくか、良いと思われる商品を開発しても売れない場合は何が問題か等を学んでいきます。経営戦略論、組織論、マーケティング論等の基礎知識を繋げ、新商品開発のために必要な知識を学習します。	テキスト：なし 参考文献：グロービス「MBAマーケティング」(グロービス大学院2019) ロバート・B・チャルディーニ「影響力の武器」(誠心書房1991) その他、必要に応じて適宜指示する。毎回レジュメプリント配布。
49	経済学史 (金1) 吉田 昌幸	15	経済学の歴史をふりかえることで経済学と資本主義経済の共進化について考えていきます。また、様々な経済学者の議論を通じて資本主義経済の在り方についても考察していきます。講義を通じて、経済学という学問それ自体がどのように形成され、今後どのように進化していくのかについて考えます。	【テキスト】江頭進(2015)『はじめての人のための経済学史』新世社 2100円＋税【参考文献】井上義朗(2004)『コア・テキスト 経済学史』新世社 2650円＋税、中村隆之(2018)『はじめての経済思想史』講談社現代新書 840円＋税
50	経済史Ⅰ (金1) 内橋 賢悟	15	日本経済史を軸にして経済史の基礎を学びます。日本経済史において記される様々な事象を取り上げつつ講義を進めていきながら、最終的には日本経済全般に関する歴史的事実的分析の把握を目指していきます。具体的には、理論と歴史をフィードバックしながら講義を展開予定です。	テキスト：なし 参考文献 蔭山克秀『マンがみたいにスラスラ読める経済史入門』[大和書房]2018年
51	中小企業論 (金1) 安達 明久	15	日本経済のなかで中小企業が果たす役割は非常に大きく、中小企業は一見すると大企業と比較して見劣りする弱い存在の様に思われがちです。しかし、中小企業は、大企業にはない独自の強味を本来的に有しており、その力と特徴を発揮することで日本経済に貢献することを強く期待されている存在です。本科目では、このような観点から、中小企業の機能、役割等に関する基礎知識(イノベーション、グローバル化等)を解説するとともに、中小企業がこのような役割を果たすために必要となる中小企業特有のマネジメント上の課題(オーナー経営、事業承継等)について、経営学と法学の観点から具体的な事例を交えつつ説明を行います。	【テキスト】毎回授業前に講義資料等をWEB上に掲載する【参考書】安達明久ほか共著『理論と実践 中小企業のマネジメント』中央経済社¥3,300
52	簿記Ⅲ (金2) 山崎 一輝	15	簿記の基礎的能力を有する学生を対象として、より実践的知識と処理能力を修得することを目的とします。	【テキスト】滝澤 ななみ『スッキリわかる 日商簿記2級 商業簿記第15版』TAC出版 1650

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
53	会社法Ⅰ (金2) 吉田 昌幸	15	企業とは何か、会社とは何か、会社の諸形態、会社の機能、及び、株式会社の機関について解説します。	テキスト伊藤靖史・大杉謙一・田中亘・松井秀征『会社法 第4版』有斐閣¥2,900円+税 他は適宜指示する。
54	経営戦略論 (金3) 高橋 成夫	15	経営戦略について、その意義、内容、代表的理論を通して、今後の経営戦略のあり方について検討します。	吉村孝司編『経営戦略：企業戦略と競争戦略』学文社 2,400+税

専門 文化経済系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00>

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
55	非営利組織論 (月1) 長谷川 敏栄	15	現在、私が理事をしているNPO法人まちづくり学校、NPO Oaisa等の組織を中心に、非営利組織としての特定非営利活動法人(NPO法人)と非営利団体の活動を学びます。また、特定非営利活動促進法にもとづくNPO法人の基礎知識を学びます。非営利団体の現場を訪問したり、非営利組織の立ち上げ実習も行います。	知っておきたいNPOのこと(日本NPOセンター編集発行)まちをつくるひとをつくる machidas マチダス(NPO法人 まちづくり学校 発行)※講義が始まってから、講師が販売します。
56	越佐文化論 (月3) 三井田 忠明	15	新潟県内を主なフィールドとし、そこで消長してきた様々なモノ(物質文化)と心(精神文化)を取り上げ、それを民俗学的な視点から概観します。その作業の中から地域の文化的個性や暮らしの変容などを把握します。	授業時にプリントを配付する。
57	コンテンツ産業論 (月4) 権田 恭子	15	今日のメディアの急速な発達、情報のデジタル化に伴い、今後益々注目されるであろう日本のコンテンツ産業について概観し、コンテンツ産業各業界の特性や今日抱える課題について理解を深めていきます。その際、ビジネスの実際の把握にとどまらず、その背景にある文化的側面にも注目し、受講者自身がこれらの産業を消費、醸成していく主体であることを自覚しながら、コンテンツビジネスの今後の可能性と課題について考察を加えていきます。	授業中に適宜指示する。
58	文化経済学Ⅰ (火1) 澁谷 朋樹	15	文化経済学という視点から社会を分析し、現実の課題を解決する政策提言をするための基礎づくりをします。そのため、まずは「文化」と「経済」の概念を確認し、その結びつきを学習します。次に、文化経済学の基礎理論を学び、そして、事例をみることによって理論と実践の接続を試みます。また、分析・検討を行うための各種データの収集方法と基本的な活用方法の習得も目指します。	【テキスト】なし。補助資料を配付する。【参考文献】1.後藤和子・勝浦正樹編(2019)『文化経済学：理論と実際を学ぶ』有斐閣 2.駄田井正・藤田八輝編(2014)『文化経済学と地域創造：環境・経済・文化の統合』新評論 3.その他の文献に関しては、授業内で適宜紹介する。
59	文化産業論 (火1) 黒川 敬三	15	前半はD.スロスビーの理論を基礎として、「文化産業」の定義とその周辺産業、またそれらに従事する「労働者」などについて論じます。後半はT.コーエンの著作を参照しながら、文化交易の功罪や、ハイカルチャーとポピュラーカルチャーにおける消費者と批評家の役割などについて論じます。	【参考図書】デイヴィッド・スロスビー『文化経済学入門』日本経済新聞出版2,800円 タイラー・コーエン『創造的破壊。グローバル文化産業とコンテンツ産業』作品社2,400円

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
60	グリーンツーリズム 演習 (火2) 池井 豊	15	グリーンツーリズムは農村地域において自然・文化・くらしを体験し、その地域の人々との交流を楽しむ活動です。その基本的な意味や仕組みを学びます。また、実習としてグリーンツーリズムの現場に行きプログラム体験や事業サポートや現場の生の聴き取りなども行い、モデル地域を設定しプログラム作りも実習します。土日にフィールドワークを行います。	【テキスト】[農学基礎 セミナー]グリーンライ フ入門 農山漁村文化協 会 1,800
61	観光経営論 (火3) 春日 俊雄	15	授業の目的は、観光経営に関する基礎的な知識の習得のもと、今後における観光経営のあり方についての理解を通して、観光経営の進展を図る創造的な能力と態度を育てます。観光産業を取り巻く環境や宿泊業の経営などについて学ぶとともに、観光産業が21世紀における我が国の基幹産業として発展することの重要性について考察します。	必要に応じて資料を配付する。
62	観光資源論 (火4) 春日 俊雄	15	近年の観光を取り巻く状況の変化に伴う観光行政の推進と施策の方向性について概説したうえで、新潟県の美しい自然や豊富な温泉、特色ある地域文化や歴史遺産など、多様な自然的資源や文化的資源に関する特性について学習するとともに、観光資源の有効的な活用による観光振興のあり方について考察します。	必要に応じてプリント資料を配布する。
63	博物館展示論（代： 片岡） (水2) 三井田 忠明	15	博物館や美術館は国や地方の文化活動の拠点としての意味をもっています。この科目では博物館や美術館における展示の意義や歴史、展示のための施設や機器とその使用法について理解を深めるとともに、実際の事例を教材としながら展示のあり方について考えます。 *1~8回は三井田、9~15回は片岡が担当します。* 授業時間外に博物館・美術館等の見学をおこなう場合があります。	テキスト：各教員が説明します。参考文献：（いずれも産大図書館にあり）①日本展示学会編『展示論 博物館の展示をつくる』（雄山閣、2010年）②佐々木利和ほか『博物館展示論』（放送大学 教育振興会、2012年）③青木豊編『人文系博物館展示論』（雄山閣、2013年）④黒沢浩編著『博物館展示論』（講談社、2014年）※どれか1冊を購入するなら①をすすめる（2,860円）。
64	アグリビジネス論 (水3) 金 光林	15	前近代の社会では「農者天下之本」と言われ、農業が産業のすべての根幹として位置づけられていました。現代では、自然環境との共生という考え方から農業が再び注目され、ロボット・ドローンやICT（情報通信技術）を活用したスマート農業によって、農業に魅力を感じ、就農する若者が世界中で増えています。この授業では、日本の農業に焦点を当て、農産品をどんな働き方で作り、どのように流通し、どのように農家と農協や農水省・政府がかかわりを持つのか、そして田畑はどのように維持しているのか、などの農業の基本について学びます。	テキスト：板垣啓四郎監修『農家と農業～お米と野菜の秘密』（実業之日本社2015年）800円 参考書：八木宏典監修『史上最強カラー図解プロが教える農業のすべてがわかる本』（株式会社ナツメ社2010年）1,500円

<1限 9:15～10:45、2限 10:55～12:25、3限 13:15～14:45、4限 14:55～16:25、5限 16:30～18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
65	文化経済学Ⅲ (木3) 梅澤 精	15	文化経済学の歴史を学び、どのような社会状況や問題意識のもとで現在の文化経済学が形成されてきたのか理解を深めます。	テキスト：なし 参考文献：A. スミス『哲学・技術・想像力』勁草書房：伊藤邦武『経済学の哲学』中公新書：中矢俊博『ケインズとケンブリッジ芸術劇場』同文館出版：ボウモル&ボウエン『舞台芸術』芸団協出版部：D.スロスビー『文化経済学入門』日本経済新聞社
66	食文化論 (金1) 梅比良 眞史	15	「和食」に欠かせない米作の起源をたどり、なぜ「主食」となったかを解き明かし、そのことが日本料理にどのような影響を与えたかを考えます。また、世界無形文化遺産に登録された、素材を活かし、旨を引き立て、栄養バランスにもすぐれる和食の歴史をたどります。	【テキスト】原田 信男『和食とはなにかー旨みの文化をさぐる』角川ソフィア文庫 800 (本体)
67	博物館経営論 (金1) 三井田 忠明	15	博物館の管理運営の方向は、館の設置目的や性格によって異なるが、事業を行う際には教育的配慮のもと、社会教育機関として適切に運営しなければなりません。しかし、効率性や経済性と無関係ではありえず、その傾向は今日より強く求められます。こうした点をふまえ、多様な博物館活動をミュージアム・マネジメントの立場から見ていきます。	授業時に資料を配付します。
68	文化経済学Ⅱ (金2) 梅澤 精	15	文化経済学Ⅰの続きをします。文化経済学Ⅰ、Ⅱを受講することで、文化経済学についてのおおよその理解が可能となります。	テキスト：なし 参考文献：池上惇他編『文化経済学』有斐閣ブックス：金武・阪本著『文化経済論』ミネルヴァ書房：池上・山田編『文化経済学を学ぶ人のために』世界思想社 その他、講義において適宜指示。
69	基礎文化論 (金3) 小林 健彦	15	日本文化の基礎を学習します。具体的には、日本語の経緯と「日本学」の原型である「有職故実(ゆうそくこじつ)」を素材として扱います。	テキスト：小林健彦著『日本語と日本文化基層論～人名、人格化、そして、うわさの文化～』(電子書籍製本版、データ版)を使用する(購入方法は授業中に指示する)。「日本文化論」との共通テキストである。その他、プリントを配布する。参考書：講義において適宜指示する。

令和5(2023)年度 新潟産業大学 特別講座のご案内

本学学生と一緒に**聴講**してみませんか。

令和5(2023)年度春学期の「東洋史」授業が一般財団法人ユーラシア財団 from Asiaの助成事業として昨年度に続き開講されます。日本国内外から多彩な講師を迎え、東アジアの歴史・文明・自然・環境について幅広く学ぶことができます。

講座の詳細

講 座 名	東洋史（ユーラシア共同体のための東アジアの歴史・文明・自然・環境への理解）		
講座実施期間	2023年04月10日～2023年07月31日	講座実施曜日/時間	月曜日/14：55～16：25
受講対象学生数等	100名	受講対象学年等	全学年・聴講生等

※講座コーディネーター：新潟産業大学 金 光林教授

講座実施日		講義テーマ	講師名・役職	講師所属機関名
第1回	4月10日	十九世紀に海を渡った一本の標木から考える東アジア	金 光林教授	新潟産業大学
第2回	4月17日	いま、なぜアジア・ユーラシア共同体なのか -その意義と役割-	鄭 俊坤首席研究員	ユーラシア財団 from Asia
第3回	4月24日	ユーラシアの自然環境	沼岡 努名誉教授	新潟産業大学
第4回	5月1日	アジアにおける仏教美術の地域的特色 *オンライン授業	片岡 直樹教授	新潟産業大学
第5回	5月8日	東アジア文明の諸相 *オンライン授業	金 勲教授	北京大学
第6回	5月15日	中央アジアと東アジアの関係 -その過去と現在- *オンライン授業	キム ゲルマン教授	アルファラビカザフスタン 国立大学
第7回	5月22日	近現代におけるモンゴル世界の多様化	ボルジギン ブレンサイン教授	滋賀県立大学
第8回	5月29日	ベトナムの「家訓」文献から見たベトナム人の礼 *オンライン授業	佐藤 トウイウェン氏	元関西大学講師
第9回	6月5日	東アジアの姓氏と祖先意識及び神話伝説	金 光林教授	新潟産業大学
第10回	6月12日	東アジアとは? *オンライン授業	宋 念申教授	清華大学
第11回	6月19日	漢文訓読の基礎条件 -なぜ孤立語を膠着語に変換できたのか?-	古田島 洋介教授	明星大学
第12回	6月26日	高齢化社会で注目される伝統医学-中国・日本における漢方医学-	魯 紅梅講師	順天堂大学 蒲谷漢方研究所
第13回	7月3日	建築設計から見る東アジアの建築と文化	許勢 永建築士	(株) JPM
第14回	7月10日	東アジアの国際関係-地域統合の可能性について-	若月 章名誉教授	新潟県立大学
第15回	7月24日	環境保全の国際的な枠組みとそのメカニズム	龍 世祥教授	富山大学
第16回	7月31日	東アジアにおける「人的・文化的交流」の歴史と「共生」	権 寧俊教授	新潟県立大学

※聴講講座の申込みについては、「2023年度 新潟産業大学春期(聴講講座)のご案内」をご覧ください。

お問い合わせ先:新潟産業大学教務課/地域連携センター
Tel:0257-24-8441 e-mail: kyoumu@ada.nsu.ac.jp